



写真 幸田町役場

1. 幸田町の概況
池田町は国の社会資本総合整備助成金を用い、町なか再生事業（5カ年事業費15億円）を計画しています。町議会としても、この計画が有意義な計画となるよう常任委員会で検討を始めました。その一環として、10月17日、社会資本総合整備事業（以降、整備事業）を実施している愛知県幸田町へ議員視察研修に行ってきました。その概況を報告します。なお、同事業の説明は幸田町都市計画課の担当者からうけました。

議員視察研修で愛知県幸田町（こうたまち）、山梨県甲州市のサッポロワイナリー・勝沼ワイナリーへ行ってきました

○幸田町は愛知県岡崎市に隣接した町で、面積57km²、人口3万8千人、筆柿の産地で有名です。昭和40年代以降工場誘致により自動車工業（デンソーなど）が盛んになりました。工場誘致が成功した要因として、国道2本、JR線・新幹線が走る交通便の良さが上げられます。

○工場の税収（70億円程度）により町財政は豊かで地方交付税は受けておらず、町予算は約140億円です。

2. 幸田町の社会資本総合整備事業概況
○幸田町は都市計画マスタープラン、総合計画、地区計画に基づき町づくりを進めました。同町の整備事業はこれらの計画の一部を国の助成金（助成率50%）を用いて実施しています。

○整備事業は平成18年から27年までの9カ年で次のような事業を行っています。

- ・駅前のにぎわいを創出するために土地区画整理事業、道路・公園などの整備事業を行う。（事業費65億円）
- ・下水道整備を行う。（事業費19億円）

3. 感想
幸田町では、幸田駅前地区画整理事業を平成3年から住民との協議を進めてきました。町内に移転先を用意し、住民との信頼関係を築いたことで円滑な事業遂行ができ、国の整備事業導入につながったと町の担当者は話していました。

このように、幸田町の整備事業は時間をかけて住民の合意を得て進めていることに感銘をうけました。

池田町産のブドウを用い、ワイナリーが始まる

池田町中之郷のサッポロ安曇野池田ビントーロ（株）圃場で2年前に植栽されたブドウが初めて収穫され、山梨県甲州市勝沼にあるサッポロワイナリー（株）グランポレール勝沼ワイナリーに送られました。

10月18日、議員視察研修でこのワイナリーを見学しました。ここのワイナリーは世界的に認知されているとのこと。サッポロワイナリー（株）は北海道山梨県、岡山県、池田町の4圃場で栽培されたそれぞれ別品種のブドウを

使い、日本でしか作れない最高のワインを目指しています。

サッポロワイナリーの心気にも触れ、初めての池田産ワイナリーへの期待が高まりました。

写真 グランポレール勝沼ワイナリー



私の行動日誌・予定

- ・10月4日 中信地区共産党議員研修会
- ・10月5日 議会報編集委員会
- ・10月9日 議会全員協議会
- ・10月10日 議会基本条例、町との協議
- ・10月11日 議会報編集委員会
- ・10月13日 広津紅葉散策ガイド
- ・10月14日 議会改革シンポ(塩尻市)
- ・10月17日 議員視察研修(幸田町役場)
- ・10月18日 " (勝沼ワイナリー)
- ・10月19日 議会報編集委員会
- ・10月20日 いけだっ子フェスティバル
- ・10月22日 地方議員研修会(東京)
- ・10月23日 "
- ・10月24日 高瀬ダム現地視察
- ・10月25日 読売旅行、大峰七色大カエデウオークガイド
- ・10月31日 町社協評議員会

10月10日、議会改革特別委員会では議会基本条例の素案を町に示し、協議しました。主な項目は次のとおりです。

- 休日議会・模擬議会（子供議会など）の開催
- 町長等への反問権付与
- 町の重要施策・事業への政策形成過程7項目の説明資料提出義務
- 議決事項に町の基本計画・構想の追加

特別委員会では町への回答を得て、更に条例化に向けて取り組みます。

議会基本条例素案について、議会と町とで協議しました